

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/08/17 ～2018/09/01)

1. 勉学の状況

到着して数日後に、オリエンテーション週間が始まりました。現時点では、自分が取りたい授業の登録を終えたところです。他の大学ではどのようなオリエンテーションが行われているかわかりませんが、タンペレ大学のオリエンテーションはとてもユニークでした。私の中では、大学のシステム、時間割の決め方、手続きの方法、大学見学のような一般的なものを想像していました。このように堅苦しいものだけでなく、coffee break という朝から優雅にコーヒーと伝統のシナモンロールを食べながら他の留学生と交流する時間がありました。他にも大学内だけでなく、Tampere 市全体をガイドしてくれるバスツアーがありました。勉学に関する時間だけでなく、ゆったりと人と触れ合える場や文化・伝統を学べる時間が大切にされているという印象を受けました。(勉学の状況といえるかわかりませんが、一応大学のプログラムの一環だったので)さて、本題の勉学の状況はどうかというと、興味を持った 8 個の授業に仮登録したところです。(人数制限で取れなかった時のために念のため)語学を学べる language center の授業、自分の学部である教育学部からの授業、社会科学部から興味のある授業というように取れる授業の制限が少ないみたいです。どの授業を取るか最終的に決まったら、次の報告書で授業の紹介をしたいと思います。

2. 生活の状況

フィンランドに到着してから、ちょうど 2 週間経ちました。チューターと待ち合わせていたバス停で降り損ねたり、IKEA に買い物に行った帰りにバスがなくなり優しいおばさんに車で途中まで乗せていってもらったりと、最初からハプニング続出でした。Finland 語が未知な言語過ぎて、全部似た言葉に見えてしまうので、バス停の名前の区別がつかないみたいです(笑)しかし、困ったときに近くの人に声をかけたときや私の困っている様子を見たときに、手助けしてくれようとする親切な人が多くどうにかかりました。感謝です。アパートでは、2 人の Finland 人のルームメイトと住んでいます。キッチン、シャワーは共同で、寝室は別々になっています。はじめは、何もなかった部屋が今は家具がそろい、生活感が出てきました。実は私の部屋のベッドは、ルームメイトと私では組み立て方が分からず、「男ならこういうのが得意なはず！」(gender equality について学ぼうとしている自分がこういう発言をしたらまずい気はしますが)という思い付きから下の階にいる知らない男の方をお願いをし、手伝っていただきました。見事に完成しました。もう床に寝ずに済みます。ルームメイトとは特に問題なく過ごしていますが、最近気になりだしたことが一つ。ルームメイトにルールがあるかどうか初日にきいたところ、「ないから自由に何でも使っていていい」と言われました。とりあえずトイレトペーパーがなくなった

ときに私が買ったものを補充したのですが、今ではいつのまにかなくなるたびに私のものを補充し使われています（笑）ルールがないかわりにお互いに補い合うという感じかと思いきや、違ったみたいです。近々、確認する必要があるなと思っています。

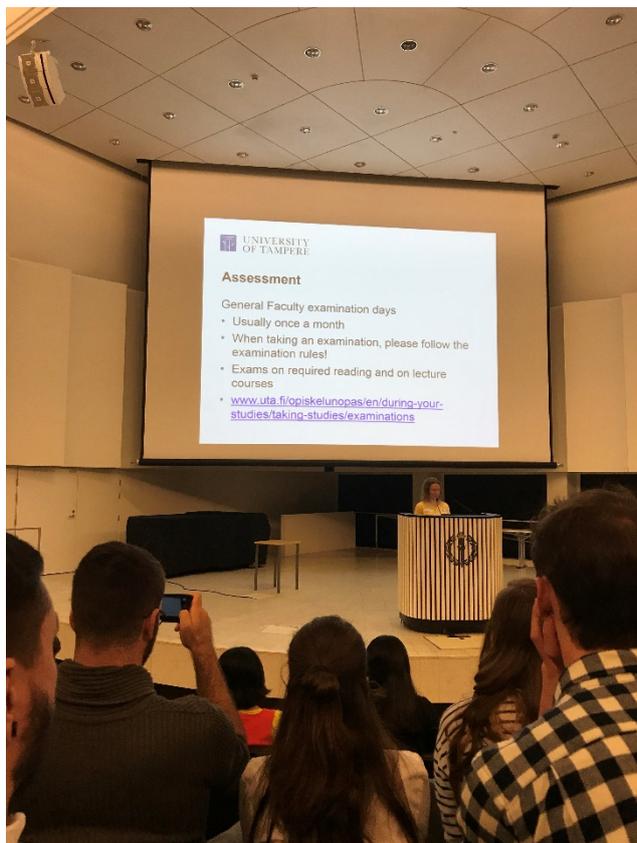
町の中では、バスの使い方、自分のアパートと大学やシティーセンターの位置感覚が身に付き Tampere を 1 人で歩くのが怖くなくなりました。留学生の中でも、韓国人・ロシア人・フランス人・中国人など仲いい友達が徐々に増えてきて、楽しくなってきました。今度暇な週末には、バスツアーのときにおすすめされた、街を見渡せる丘に行ってみようかなと思っています。



20 世紀初期までフィンランド一の産業都市としての名残り



近くの湖からのきれいな夕焼け



オリエンテーションの説明の様子



ビュッフェ形式の学食(実はこれで 300 円)、パンは会計後も食べ放題

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/09/02 ～2018/09/30)

1. 勉学の状況

ようやく今学期受講したい授業が決まり、フィンランドの授業のシステムに慣れてきました。今月は、受講することになった授業の内容や、課題の内容などについて紹介したいと思います。

(教育学部の授業から)

- Practical Observation of Finish School System for Incoming Exchange Students 5ETCS

フィンランドの教育システムについて学べます。講義は2回だけで、その他は現地の小・中・高等学校を観察します。課題は、観察毎に Diary を書き、論文を4つ以上読んだうえで最終課題として約8ページの Essay を提出します。

- Identity and Life-course 5ECTS(聴講)

まだ始まっていませんが、他の授業の様子を見つつ聴講にするかどうか検討しようと思います。(社会科学部の授業から)

- Wellbeing: Children in focus 5ECTS

毎週講義があり、講義毎に Diary を書き、最終課題として約12ページの Essay を提出します。

- Introduction to Gender Studies(Web course) 3ECTS

Online 上での授業です。毎週、課題の文献を読み Moodle 上で5.6人のグループで1 Discussion をします。最終課題として、文献をもとに3ページの Essay を提出します。

(Language Center から)

- Cultural Conversation 1ECTS

これは授業ではなく、group ごとに集まり計画し条件とされた時間分 group meeting を自由に開く形式になっています。目的や内容は自由に決めることができます。課題は、Meeting 毎の Diary です。

- Preparatory Course in Communicative Skills 2ECTS

まだ始まっていませんが、B1 レベル向けの授業です。Speaking 力を向上させることが主な目的になっています。

上の説明からも分かると思いますが、日本の授業との大きな違いは、毎回の授業で書くことになっている Diary です。Diary では、その授業で考えたことや自分の経験に結び付けて気づいたことを書くことになっています。書いていて気づいたことは、「経験結び付けて」という点が意外と難しいと感じました。その一方で、経験と結びつけて考えようとするからこそ、その文章を書いている目的が生まれてくるような気がして、文章を読んだり書いたりするのが嫌いで苦手な私でもどうにか頑張ろうとしています。(あくまでも、頑張れそうな気がしているだけですが、、、笑)でも、やっぱり stressful です。母語でも大変なのに英語だとなおさらつらいです。

2. 生活の状況

今月は、前半に授業がまだ本格的に始まっていない期間があったので、近場に遊びに行きました。一番の遠出はヘルシンキで、おとしの千葉大の留学生だった友達に会って来ました。ヘルシンキはフィンランドで一番栄えている都市と聞いていたので観光するのに時間がたくさん必要だと思っていましたが、実際には一日で回れるコンパクトな街でした。ひたすらに教会巡りをしました(笑)お互いの国に留学しあう友達がいるのはとても心強いです。タンペレ内では、街を一望できる Pinniki タワーや二つの湖に挟まれた見晴らしの良い丘に picnic しに行きました。ほとりあえず、冬になる前にアウトドア系の遊びを体験しておきたいと必死になっています(笑)まさか、9月の時点で冬に恐怖心を抱くことになるとは思ってもいなかったです。フィンランドの天気をなめていました。最近、フィンランドの天気に慣れて季節感覚が衰えてきたせいか、肌寒さが心地よく感じられてきました。日本では、寒さを感じることを防ぐために厚着をしていましたが、「フィンランドはとても寒い国」という先入観から「ここでは寒さを感じるのが当たり前」という考えを持つようになり、自分の寒さへのとらえ方がポジティブになってきています(笑)ほかに、博物館に行きました。切手、ぬいぐるみ、ゲーム、街の歴史などをテーマにしたコーナーがあり、なんどでも行きたくなる博物館でした。この博物館だけでなく、ムーミン博物館も定期的に無料で入れる日があるので、嬉しいです。

来月は、ドイツ・オランダ・ベルギーに旅行することになったので、それを楽しみに勉学の方も頑張りたいと思います。



アパートへの帰り道、一足先の紅葉シーズン



Pinniki タワー、景色よりもドーナツ

このドーナツはとても懐かしい味



最近マカロニが安いことに気が付いたので、マカロニけっこう食べてます

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/1 ～2017/10/31)

1.勉学の状況

今月は、授業にも慣れ、自分なりに課題に取り組むペースもつかめてきました。先月の報告書で紹介した、日本ではめずらしい online course と learning diary を書くことで単位が取得できる course のことについて少し詳しく書きたいと思います。Introduction to gender という online course は、毎週 1、2 つ論文を読み online 場で discussion をしています。考えてから書くことができるため、会話の時よりも自分の意見が正確に伝えられるところが長所だと思います。その代わりに speaking の力は上がりづらいので、その場で意見を考え発言する訓練も必要だと感じています。Cultural conversation という learning diary 中心の course では、毎回グループのメンバーで topic を決め進めています。最近のミーティングでは Japanese food という名目で、ただの料理会をしました(笑) 寿司はもうみんな知っていたので、肉じゃがと卵焼きを教えてあげました。焼いてから煮込むという肉じゃがの料理方法の良さに感動していました。(ちゃんと日本の文化を学んでることが分かりますね! 笑) 友達が飼っていた犬も喜んでました。普段は lunch をしながら気軽な雰囲気話しています。

2.生活の状況

今月は、生活のリズムもつかめてきたのでよく自炊をするようになりました。(旅費のための節約という意味もこめて) ヨーグルト、パスタ、チーズ、ハム、トマトソース、卵がコストを安くする必需品になっています。簡単な料理で済ますことが多い中、たまに他の友達と一緒に料理をすると暖かく少し凝ったもの食べれるので嬉しいです。1人で作るのはおっくうなものも、やっぱり誰かと一緒にだと楽しくて良いですね～私は留学生がたくさん住んでいるアパートが集まっているところに住んでるので、よく「今〇〇を作ったから食べに来て～」と呼ばれておいしいものを食べさせてもらっています笑今度は私も何かおすそ分けできるものを作りたいなあと思っています。さて、私の食生活の話はここまでで、今月の big event はドイツ、オランダ、ベルギー旅行でした。現地で友達に会って一緒に観光しました。シンプルに楽しかったです。EU 圏内にいるとヨーロッパ旅行が安く簡単にできるので便利ですが、1回の旅行は1週間が限界だなと気づきました(笑) あとは、建築物の見た目はただ流して見ていると、似ているものが多いので、歴史的背景を知っていた方が有意義な旅行になるなあ実感しています。今更ながら、世界史をもっとやっていたらよかったと後悔、、、。今回の旅行でしばらく旅行欲は抑えられそうです。来月は課題に追われます。頑張ります。



←Happy autumn BBQ
中秋の名月を祝うために
バーベキューをしました！
(アパートの間にある無料の
バーベキュースポットです)

I amsterdam→
初の一人旅@アムステルダム



←キャンディーの量り売りは何歳になっても楽しい
です(笑) 好きなキャンディーを選ぶのはとても
わくわくします☺

誕生日をお祝いしてもらいました→



←これはイタリア人お手製の本格ティラミス、
おいしすぎました

初雪もあり、
もう鍋の季節はじまりました～！→



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01 ～2017/12/03)

1. 勉学の状況

今月は多くの授業が終了し、Learning Diary や最終レポートの提出に追われていました。Learning Diary は授業で学んだことと自分の経験で結びつきのあることなどを書いていけば、文章の書き方には特に決まったルールがないので比較的リラックスしながら書くことができました。しかし、Essay になると学術的な書き方を意識しなくてはならないのでとても stressful でした。友達に Essay と普通の report の違いは何か聞いたときに、「Essay では“I think”などの表現はあまり使わないよ」と言われ驚きました。自分が興味のある授業を受ける前に、そもそも Essay の書き方を学ばなければいけないと感じました。また、一言に Essay といっても授業によって少しずつ求められている条件が違うので、毎回新たな Essay を書くたびに悩まされています。

授業に関しては、Identity and Life-course という授業が 11 月の後半から始まりました。この course は、講義が授業期間の最初と最後の 2 回だけしかありません。初回の授業では、教授が準備したポストカードから好きなものを 1 つ選び、そのポストカードを利用して自分はどんな人か自己紹介をし合うという activity をしました。大学の授業でありながら、講義形式ではなく体や物を使うように工夫された授業だと思いました。講義以外はグループワークでそれぞれが読んだ論文について presentation をするというスタイルです。人に説明することを意識して論文を読むので、そのことが長い論文を読むモチベーションになりました。その代わりに、「理解してもらえなかったらどうしようかな」という不安もありましたが、むしろ presentation をしていると、他のメンバーが違う言葉で言い換えてくれたり、私が読んでいて分からなかったところを解決してくれたりしました。1 人で論文を読むよりも、グループ活動を行う方が読んでいる論文の理解度が高まったので、このスタイルの Course が好きだと思いました。

Practical Observation という現地の学校の授業を観察する授業では、Course に参加している国ごとに、自国とフィンランドの学校の違いを比較する presentation を行いました。与えられた時間が短かったのでうまく内容を伝えることが難しかったです。短い時間でも正確に必要な情報を分かりやすく伝えられる英語力が全然足りないと痛感しました。

12 月からは、来学期の授業登録も始まるので、取りたい授業もある程度考えて決めました。

2. 生活の状況

今月から急に日が短くなり、活動時間がとても変わりました。夜型になってきています。今の時点で日が昇る時間は9時くらい、日が沈む時間は15:30くらいと、明るい時間が短いせいか1日1日が過ぎ去るのが早くなったように感じます。(日中の時間だけを考えると1日の長さが日本の半分くらいですね(笑)) フィンランドに来る前からこの事情は知っていましたが、意外とこの環境にいると気分が自然と沈みやすくなるという感覚がやっと分かりました!(笑) 8月~10月と比べると、人と会っている時間がとても貴重に感じます。

最近、オリエンテーションの時期に比べて留学生向けの大きなイベントに参加することが減りましたが、Movie Night という映画を鑑賞するイベントに参加しました。その映画はドキュメンタリー映画で、フィンランド人が自然を愛する精神みたいなことがコンセプトになっていました。最初コンセプトを見たときは日本人も同じじゃないかと思いましたが、フィンランド人はactivity をする場所というよりも生活の一部として考えていることが分かりました。(これも最近では古い考えになっているそうですが、、、) 映画を見た後に、監督を招いて感想などを共有する時間を設けていて、他の留学生が感じていることや、実際のフィンランド人の学生の意見なども聞けて楽しかったです。フィンランド人の友人によると、その映画館は全国規模のチェーン店と違い地域の小さな映画館だが、とても快適なお気に入りの場所だと言っていました。

私の部屋には新しい家具が増えました。木製の大きな勉強机です。私の住んでいるアパートでは、いらなくなったものをリサイクル倉庫に捨てていき、ほしい人が自由に取っていくという習慣があるみたいです。もともと使っていた机が低く、最近腰が痛くなっていたのでとてもありがたいリサイクル品でした。(笑)

クリスマスシーズンということもあり、編み物を始めました。フィンランドでは、編み物をクリスマスプレゼントとして贈ることが多いそうです。フィンランドでは、裁縫の授業で小学生から編み物に慣れ親しんでいます。このこともあって、フィンランド人の友人に基礎的な編み方を教えてもらいました。無心になってできるのでいい息抜きになります。簡単なコースターを作っています。

祝フィンランド100周年 City Hallにて



豪華な食事これも無料です



ここまで1時間半かかりました、、、。(初回)





11月始まりと同時にきれいな
イルミネーション



フィンランド伝統のクリスマススイーツ
今回はシナモンアップル



ムーミンも寒そう



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/01 ~2018/01/08)

1. 勉学の状況

先月の報告書に書きましたが、11 月後半から引き続きレポートやエッセイに取り組みました。テストがない分、リラックスして過ごすことができました。



→Identity and Life-course のグループメンバーと。

2. 生活の状況

今月は、課題を終え、早くから生活が冬休みモードになっていました。クリスマス、年末、年始と友人や母と一緒にゆっくり過ごすことができ良かったです。

1/15 から授業が始まるので、そろそろ休みボケから抜け出したいと思います。



→エストニアのタリン 日本人にとって旅行にはマイナー場所ですが、飽きることのない素敵な空間でした。



→ついにトナカイの肉を食しました。匂いは牛肉、食感はレバーみたいな感じでした。



→フィンランドの寿司は意外と悪くないです！(笑)ランチなら12ユーロで食べ放題です。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/09 ～2018/01/31)

1. 勉学の状況

冬休みが明け、いくつか授業が始まりました。1月は、月曜日・水曜日・木曜日に授業が入っています。2月からまた新たな授業が加わることになります。今月は学期はじめということなので、私が受講する授業を紹介したいと思います。(ECTS=ヨーロッパ圏で使われている単位で、2 ECTS=日本の1単位と計算できます)

①Intercultural Communication 2ECTS

この授業は、名前の通り文化について学ぶ授業です。違う文化の人と円滑にコミュニケーションする方法を学びます。コミュニケーションは国や文化関係なく、個人の性格によっても方法が異なることがありますが、やはり、国・文化・地域などである程度特徴を分類することができます。まだ、2回だけしか授業はやっていませんが、日本の文化や自分の性格が文化からどのように影響されているかなど見つめなおすことができるのでとても楽しいです。また、この授業には Cultural Conversation という他国の人とペアやグループになって自由に交流できる機会があるので留学生におすすめです。

②Finnish Survival Course 2ECTS

この授業では、本当に初歩的なフィンランド語を学びます。発音から単語を覚え、基本的なフレーズを使えるようにするというレベルです。前学期に、定員オーバーで取ることができなかったので、今学期に取ることになりました。フィンランド語だけでなくフィンランドの文化の紹介もしてくれるので、一石二鳥です。英語ではなく、フィンランド語という新しい言葉を他の留学生と一緒に第二外国語として勉強することは新鮮だと感じました。

③Finnish Education System 5ECTS

前学期も、フィンランドの教育システムを概要的に学べる授業を受けていましたが、この授業では概約的なことだけでなく、他国と比較しながらフィンランド教育の欠点や長所についてより詳しく学ぶことができるので受講することに決めました。毎授業の前に、課題の論文を読み議論したいことを準備し、実際に授業で話し合うというスタイルなので充実しています。

④Gender in Society 5ECTS

前学期に受講していた Gender 関係の授業はオンラインコースだったので、実際に他のメンバーと会話ができなかったということを反省して、講義形式の授業を選びました。内容的には重な

る部分がありますが、日本ではジェンダーの授業を受講していなかったということを考えると、理解を深めるために基本的な授業を重複する方がいいと思い、この授業をとることに決めました。3月から始まります。

⑤ Education、Work and Culture 5ECTS

教育を、仕事や文化という視点から考えるというところに興味を持ちました。2月から始まります。

2. 生活の状況

日本に帰国した後に教員採用試験を受けるので、最近その準備を始めました。授業も、前学期は読むことや聞くことが中心の授業が多かったのですが、今学期は会話の数を増やしたいと思ったので、授業中の活動が活発そうな授業を意識して選びました。今学期初回の授業では、さっそく授業で話した子が、ランチに誘ってくれました。日本やアジアの文化にとっても興味を持っていて、質問攻めを食らっていました。知りたいことがあるときに躊躇せずにとことん聞いていくエネルギーが私と違うなと思いました(笑)むしろ私よりもよく知っていて私が答えられないことがあって困ることがありましたが、それでも興味を持っていてくれることは嬉しく感じました。

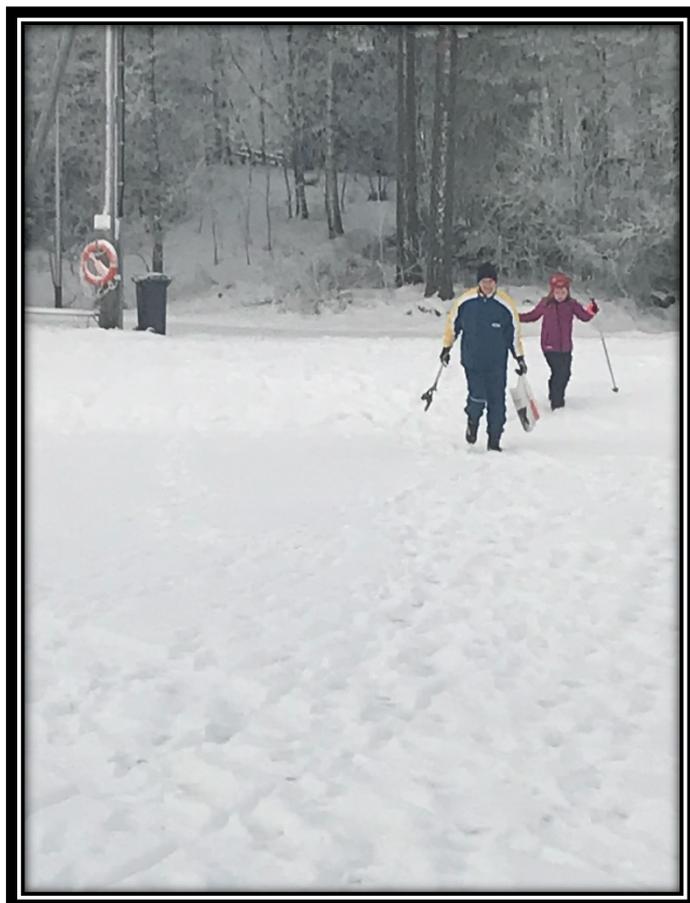
留学生活も半分が過ぎ、授業や生活の計画を色々と立てているときに帰国日から逆算をするようになりました。残りの留学生活では、帰国後のことを考えながら生活しなければならないので、最近は留学している実感が薄れてきました。(笑)自分の住んでいる町も、通っている大学もう慣れているので、特に苦労することはありませんが、その分違うことにエネルギーや時間を使えるようにしたいなと思っています。また、フィンランド現地の学校で日本の文化を紹介するようなボランティアの機会があるみたいなので、その機会を利用して現地ではできない経験を増やしていきたいと思います。

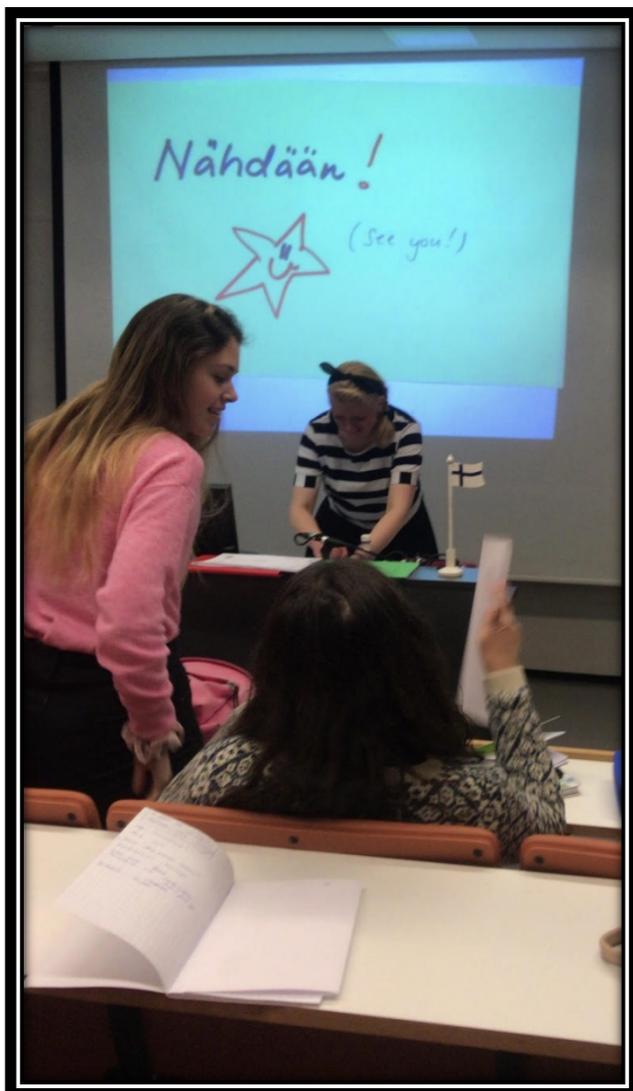
天気に関しては、まだ寒い日は続っていますが日が長くなり 11 月 12 月と比べると生活習慣が改善されてきました。ジムで体を動かすようにしています。(日本に帰っていないのに、休みのおなかのお肉が増えてしまったので(笑)) ここ最近で一番わくわくしたことというと、住んでいるところの近くの湖が完全に凍っていたことです。スキーやスケートを、普通にしている親子がいたのは驚きでした。友達によると、近々湖の上に冬限定の Café ができるということなので、楽しみにしています。



↑完全に凍った湖がこちらです→

母が持ってきてくれたみそ汁うどん
で温まっています





フィンランド語の授業にて
 大きいリボンを付けた先生がとてもかわいらしい元気な先生です♡(笑)
 語学を学ぶときは元気が一番ですね！
 ちなみにスライドにも映っていますが、さようならは、フィンランド語でナッハダーンです

2回目のMoomin Museum(笑)
 Cultural Conversationのフィンランドの子に解説してもらいながら有意義な時間でした！



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/01 ～2018/03/02)

1. 勉学の状況

前学期よりも時間が過ぎるのが早く感じ、今学期ももう半ばを迎えました。この時点で、Intercultural Communication、Finnish Education System の二つの授業が終わり、Diary や Report に取り組んでいるところです。そこで、この二つの授業で印象に残っていることをシェアしたいと思います。まず、Intercultural Communication で提示された“Where is home” という問いかけについてです。“home”というのは、必ずしも自分が生まれ育ち、親しい家族や友人がいる場所のことだけではなく、自分が素でいられる、自分が comfortable であると感じられるところを指すという新たな概念を学びました。いつもと違う環境に自分の身を置いてみたり、海外で長期間生活したりすることで気づけることだと思いました。次に、Finnish Education System の自然と参加型になる授業の進め方を紹介します。ある回の授業で、あらかじめ授業のスライドと論文を読み、当日に授業内でグループを作りプレゼンを計画し発表するという進め方をしていました。その授業の前はプレゼンを当日に作ってその日に発表するということに対して、とてもプレッシャーを感じ気が重くなっていました。しかし、当日はお互いに気づいたことを共有し合いながら、意外とスムーズにプレゼンを終えることができました。私のグループの中には、積極的に idea を出す人、人の話を聞いて考えをまとめてくれる人がバランスよくいたということがうまくいった理由の一つですが、私は、グループワークのときに発言はしたものの、提案するまたはまとめる立場でもなく何となくの発言しかできなかつたのでどかしかったです。日本の授業におけるグループワークを思い返してみても、なんとなくやっていたのだなと気づきました。Finland の教育制度だけでなく、グループワークの中でどのように自分の意見を発すれば良いのかということが私の課題だと学べた授業でした。

2. 生活の状況

相変わらず、気候は寒く-10℃～-20℃の日々が続いていました。一度風邪をひいてしまってから 1 か月くらい治らず長引いています。日本では風邪をひいたときにマスクをしてのどの乾燥を防ぐことができるのですが、ヨーロッパではマスクをする習慣はなく奇妙なひとだと思われるのでできません。(私はこれが風邪を長引かせているひとつの原因だと思っています(笑)) アイススケートなどフィンランドの冬を楽しむために外に出るしかなく風邪を引いているということを見捨てたら余計に治らなくなりました(笑)体調を崩すと何もできなくなってしまうので、きちんと体を温めて残りの留学生生活を元気に楽しみたいと思います。

話は変わりますが、今月は日本から友達も来てくれ、パリ・バルセロナ・ロンドンと旅行をできました。パリ・バルセロナは一人旅だったのですが、現地で出会った一人旅をしている人や、

道に迷ったときに助けてくれた現地の人などと交流ができ、一人旅ならではの醍醐味を味わうことができ、充実していました。出会った人の中で、日本の文化に興味を持っていたり、日本に行ったことがある人が意外にもたくさんいて、うれしく思いました。そうはいつても、旅行は誰かとする方が安心して楽しめるということを実感したので、これからは一人旅を控えようと思います。(笑)今回の旅行を通して、旅行は不安や疲労感を感じないように快適に過ごせるプランを考えることが大事だと思い知らされました。また、日本から来た友達と話していて共感していたのは、フィンランドは初日にして「ここで生活できそう」という安心感を覚える国だということでした。アメリカ・オーストラリア・カナダなど英語が母国語の国ではありませんが、海外生活の初心者にはいい国なのだなと思いました。(留学の場所を悩んでいる人にここで少しフィンランドの宣伝を)



凍った湖の上でアイススケートとテントのカフェでココアを楽しみました！（報告書の写真が似たものばかりになっていますが、新しい経験です(笑)

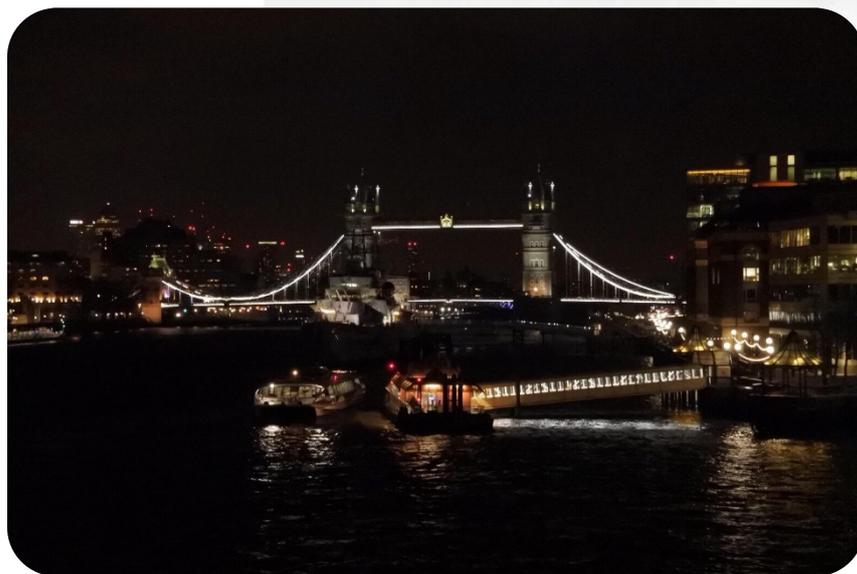


今回の旅行でのお気に入りの場所をいくつかシェアしたいと思います！



パリ：エッフェル塔

バルセロナ：グエル公園



ロンドン：タワーブリッジ

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/03/03 ～2018/04/02)

1. 勉学の状況

授業の数もずいぶん減り、今月からは Gender in Society という授業がメインになりました。前の報告書のどれかにも書きましたが、前学期に同じレベルで Gender の基本的な概念について学べる Online course を取っていました。千葉大学では Gender 関係の授業をひとつも取ってなかったこともあり、もともとの知識が少なく論文を読むのに苦労しました。専門用語も多く、基本的な概念をきちんと理解することが重要だと思ったのでもう一度同じような授業を取りたいと思い、この授業を選びました。今回は Lecture 形式の Course で、最初の 2 時間に lecture, そのあと 2 時間はグループワークや discussion が行われます。Lecture で学んだことを他の人と話しながら、再確認できるので理解が深まりやすいです。Gender Study の基本的な研究方法や意識すべき視点などを知ったことで、やっと Gender Study とは何かということが分かり卒論で Gender のテーマについて研究を進めていく上で役に立ちそうです。日本語で体系的に学んでいない学問をいきなり第二外国語である英語で学ぶことの難しさを身に染みて感じました。留学を考えている人にとって、留学先大学で取りたい授業を受けるための予備知識があるかということは、留学先で効果的に勉強を進められるかということの決め手になると思います。

2. 生活の状況

私の中で自分を成長させた今月のイベントは、現地の小学校で授業をやったことです。日本では、実際に生徒の前で授業をした経験がなく少し不安でしたが現地の先生のサポートによって、生徒に楽しんでもらえる授業になったので良かったです。テーマは日本の文化紹介ということで、自分の特技である書道を生かしたいと思い、“ひらがなを使って自分の名前を探そう”というような内容にしました。“ひらがな”だと少し退屈かなと思ったのですが、ひらがなの音楽、アルファベット表の仕組み、グループワーク、最後に筆、墨、半紙を使って自分の名前をひらがなで書く、など体験的な授業にできるように工夫してみました。すべての学年で授業をやったのですが、私が出会った小学生たちは素直で好奇心旺盛だったので、生徒たちのおかげで授業が盛り上がりました。私が来る前日から、子供たちは私の授業を楽しみにしていたみたいで学校に着くなり日本語であいさつしてくれる子もいました。それは、その子たちの授業を担当している先生が日ごろから海外の文化に興味を持つことの大切さを教えられるように意識しているということが影響しているのだと思いました。また、私の面倒を見てくださった先生が、授業のなかで私と生徒間のコミュニケーションがうまくいくように誘導するような形でサポートしてくれたおかげでスムーズに授業が進められました。今までは教師は教える立場という一方的なイメージが大きく、授業づくりが息苦しいもの感じていましたが、子供に一番学んでほしいことは何か楽しんで

らえる方法は何か考えながらやることで授業が生き生きしてくるのではないかなという発見があったので有意義な経験となりました。

↓授業の様子→



Easter に食べるロシアから伝わってきた
伝統的なスイーツ Pasha
(お友達の手作りです)



Happy Easter ということで Egg Painting

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/01 ～2018/05/01)

Finlandにもようやくかすかな春が訪れもう留学も締めくくりの時期なのだなと実感しているところです。

1. 勉学の状況

今学期登録したコースの授業自体はすべて終わり、課題となっているレポートに取り組みました。前期の経験もあり、今学期はより効率よく課題を終わらせることができました。すべて授業を終えて感じていることは、日本で専門的に学ぶことができなかつた分野であるジェンダーに関するコースを、重複する内容のもの2つ取ったことでより深い学びにつながったことです。このジェンダーのコースを通して改めて感じたことは、専門用語の定義を正確に理解することです。そもそも専門用語を理解できていないと、discussionをする際に他の生徒との会話に食い違いがでてしまいやすいということに気が付きました。(当たり前かもしれませんが…)日常会話でもるように、同じ言葉を使っても話し手の意識内での程度や表現したいことは話す人によって少し違ったりするときがありますよね。

今まで苦手だったプレゼンテーションやレポートなども、留学先での授業を通して苦手意識が弱まった気がします。帰国後は4年生なのでもうほとんど授業は残っていませんが、プレゼンテーションの積み重ねで培ったと思われる少しばかりの勇気や自信が、教育実習で授業を行う際に役立つと嬉しいなと思っています。

2. 生活の状況

テストや最終課題の提出期間とはいえ前期よりも授業数が少なく余裕があるので、後悔しないように留学生活で仲良くなった大切な友達と一緒にいる時間を大切に過ごしました。関係の浅い友人から深い友人までさまざまな人と出会いましたが、やはり友人の存在が留学生生活を充実させてくれたのではないかと感じています。たくさんのいい機会に恵まれ、留学生だけでなくFinland人の友人もできました。現地で出会って1年も経っていないのに親身になって私の生活を気にかけてくれました。そのうちの一人は、5月まで東南アジアでバックパッカーとして旅をしています。その子によると、最近Finlandの大学生の中ではアジアに興味を持つ学生が増えているそうです。Finland人の多くはヨーロッパ外に進出する人が今まで少なかったという話から考えると、アジアとの距離が縮まっているようで嬉しいです。

留学生活で得たものは何かと聞かれれば、語学力・学問の専門性などとはっきりと言えることがありませんが、自分で目標を立ててそれに向かって努力するということが楽しく感じられるようになったことが一つの収穫であったのではないかと考えています。